

## たしざんかな？ひきざんかな？視点2

1. 単元名 のこりはいくつ ちがいはいくつ (1年生 6月)

### 2. 改善の動機・意図

本単元では、前単元の加法での学習経験をもとに、減法について学習する。本時は、求残が終わり全体から一部を引く求補の場面であり、問題文に「のこり」というキーワードがないが引き算である。これまでの学習では絵を見れば答えがわかるため、児童が立式やブロック操作に対して必要感を感じることができなかった。そこで一見してすぐ答えが分かることのないような教材を提示した。それにより、児童は答えが見えないため、立式やブロック操作に必要性を感じ、立式の意味について触れ、式を使って答えを導けるような展開を考えた。

### 3. 授業の構想

T1 おにぎりを8こつくったよ。 【図】

C1 なんのおにぎりかな？



T2 うめとさけのおにぎりだよ。

8このうち、3こはうめのおにぎりだよ。

さけのおにぎりはいくつかな。

C2 中身が見えないからわからない。

C3 「のこり」って書いてないからたしざんかな？でもひきざんかな？

**<なにざんかな>**

C4 たしざんだと思う人は手を挙げてください。

(15人が挙手)

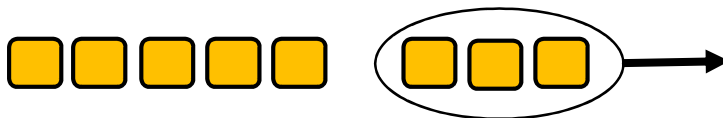
$3 + 5 = 8$ です。

C5 あれ？さけのおにぎりが8こもあるよ。

C6 ブロックでたしかめたい。

T3 ブロックでたしかめよう。どんなふうにごかせばいいかな？

C7 8このうち3こはうめだから・・・



T4 あげたり、なくなったりしてないのに動かしていいのかな

C8 わかりやすくよけておくよ。のこりが答えだよ。

T5 ではなにざんかな。式をたてよう。

C9  $8 - 3 = 5$

T6 では答えあわせをするよ。

(のりをめくると具材が見えるようにしておく。)

C10 答えが合っていたよ。よかった。

C11 なくならなくても引き算なんだな。